



# 萩園中学校だより

萩園中学校 学校だより⑦ 令和5年10月2日 校長 小俣 宏之

学校教育目標スローガン「夢・希望・感動・感謝」

早いもので年度の半分が過ぎ10/6(金)が前期の終業となり、10/10(火)・11(水)の秋季休業を含め5日間のお休みになります。夏休みのように長い休みではありませんが、体調管理に十分気をつけ、楽しい休みを過ごしてください。

先日、お便りでお知らせしました通り、令和6年度から、副教材等の諸費の引き落とし方法が変更になります。これまでは「湘南信用金庫」からの引き落としでしたが、令和6年度からは「ゆうちょ銀行」での取り扱いになります。1・2年生の保護者の方で、これまでに、ゆうちょ銀行に口座をお持ちでない方は、今月末までに、引き落とし用の口座を開設してください。すでに、ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方は、新たに口座を開設する必要はありません。

## 引き取り訓練を行いました

夏休み明けの9月1日(金)に、地震発生により大津波警報が発令された場合を想定した避難訓練を実施後、警報が解除されたと想定して、5校連携の引き取り訓練を実施しました。

今年に関東大震災から100年にあたる年ということもあり、テレビなどでもたくさんの特集番組が放送されていました。今後30年のあいだに、70%の確率で発生すると予想される首都直下型地震や約100年周期で起きる南海トラフ巨大地震が、2035年前後に起きるという予想もあります。ご家庭でも災害時の避難について、話し合いをしていただければと思います。また次年度の5校連携引取訓練は、より早い時期での訓練が必要と考え、6月に実施する方向で検討を進めています。



## 全国学力・学習状況調査結果について

中学校3年生を対象として4月18日に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。本校生徒の特徴として挙げられるものをお知らせいたします。国語、数学、英語の3教科で合計52問の設問に加え、生徒質問紙にも72項目の設問があり、すべての項目についての分析を記載することができないことをご理解ください。また本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえてご確認いただけたらと思います。

### 【教科について：国語 数学 英語】

- 国語については、15問の設問中の平均正答数が全国平均より0.9問少ない結果となりました。「我が国の言語文化に関する事項」の知識に課題が見られましたが、それ以外の項目については、ほぼ全国平均と変わらない傾向でした。
- 数学については、15問の設問中の平均正答数が全国平均より1.1問少ない結果となりました。「数と式」領域の基礎的な計算については全国平均とほぼ変わらない結果ですが、その他の「図形」「関数」「データの活用」領域については基礎的な知識・技能とともに思考・判断についても課題が見られました。

- 英語については、17問の設問中の平均正答数が全国平均より0.3問多い結果となりました。「聞くこと」「書くこと」の領域については全国平均を上回り、「読むこと」については、ほぼ全国平均と変わらない結果でした。「話すこと」については、5問の設問中の平均正答数が全国平均0.6問とほぼ変わらない結果となりました。全国でも1問も正答できない生徒数が一番多いという結果であり、「話す」能力の育成については本校だけでなく、全国的な課題といえます。
- 昨年度も実施された国語と数学については、全国平均正答数では、国語は-1.1問が-0.9問、数学は-2.0問が-1.1問と若干ではありますが、改善傾向が見られました。全国平均との比較だけではなく、学習指導要領の各領域や評価の各観点における正答率等についても分析をすすめ、今後の授業改善に繋げていきたいと思ひます。

### 【家庭での生活・生活習慣について：朝食 就寝時間】

- 朝食の喫食率は、昨年度は80%程度で、全国平均91.9%に比べて低くなっていましたが、今年度は90%程度で、全国平均91.2%とほぼ変わらない数字となりました。また、昨年度の決まった時刻に寝ている生徒の割合は60%程度で、全国平均79.9%に比べて低くなっていましたが、今年度は、75%程度で、全国平均78%とほぼ変わらない数字となりました。今後も規則正しい生活習慣について、ご家庭での協力をいただければと思ひます。

### 【菟中生の意識について：自己肯定感】

- 昨年度は「自分には良いところがある」の問いに対して肯定的な回答をしている生徒の割合は70%程度で、全国平均78.5%に比べて低くなっていました。今年度も70%程度で、全国平均の80%との比較では、昨年度と変わらず肯定的な回答が低い状況です。
- また、昨年度の「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思ひますか」の問いに対して肯定的な回答をしている生徒の割合は75%程度で、全国平均86.6%に比べて低くなっていましたが、今年度の肯定的な回答をしている生徒の割合は85%程度で、全国平均の87.3%とほぼ変わらない数字まで改善傾向が見られます。
- 「先生が、自分のよいところを認めてくれている」という意識は高まってきているので、今後も毎日の授業をはじめ、学校行事や委員会活動、部活動などを通して、生徒のよいところを認め、自己肯定感を高める指導を心がけていきたいと思ひます。

### 【家庭学習・学習時間について：学習計画 勉強時間】

- 昨年度「家で自分で計画を立てて勉強しているか」の問いに対して肯定的な回答をしている生徒が50%程度で、全国平均の58.5%に比べて低くなっていましたが、今年度の肯定的な回答をしている生徒は40%程度で、全国平均の55%並びに昨年度の50%程度と比較しても低い数字となっています。
- また月から金の学習時間については、1日あたり30分以下・しないと回答している生徒の割合は、昨年度は20%程度で、全国平均13.4%より多くなっていました。今年度の1日あたり30分以下・しないと回答している生徒の割合は、昨年度と変わらず20%程度で、全国平均15.9%より多くなっていました。
- 今後、学習習慣の確立につながる課題の提示の仕方等の工夫についても各教科で研究していく必要があると考えています。

学校では、本調査結果について全教職員で共通理解を図り、調査結果を活用して、日頃の教育活動を検証し、今後の学習指導の工夫・改善に生かしてまいります。また、校内授業研究会を通して授業改善を図るとともに、生徒一人一人の学習意欲の向上に努めてまいります。